

港区政に望む施策

(複数回答可)



区民アンケートにご協力ありがとうございました

日本共産党区議団が取り組んでいる「港区民アンケート」には、切実な要求・要望がぎっしりと書き込まれています。ご協力に感謝いたします。私たちはこうして届けられた声を取り上げて実現に頑張っています。

熊田ちづ子

看護の心を区政に



日本共産党
港区議会議員

えっ!こんなことも共産党が!?

共産党は観光課の設置を提案しています。

港区の観光行政は、歴史的な文化財や寺社・仏閣など豊富な観光資源がありながら専門の課がありません。

外国からも国内からもたくさん訪れる観光客に港区内の観光資源を見てもらう、楽しんでもらうためにも産業振興課の一部門でなく観光課を創設し港区の魅力を国内外に発信するために観光課を設置するよう、2004年から提案しています。

プロフィール

熊田区議はこんな人

1995年港区議会議員初当選、現在5期目
保健福祉常任委員会委員長
まちづくり・子育て等対策特別委員
防災・エレベーター等対策特別委員
区議団団長

1952年1月10日生
鹿児島県種子島出身
東京専売病院高等看護学校卒
21年間の看護師の経験を生かし介護や福祉の充実に力を注ぐ。家族 夫、2女1男
区議になって以来、弁護士さんの協力を得て毎月なんでも相談会を実施しています。



「看護の心を区政に」を合い言葉に、私は区議としての多くを保健福祉常任委員会に所属し、区民のみなさんの声を取り上げ、福祉や介護の充実のために取り組んできました。安倍政権がすすめるようとしている政治は本当にひどいものです。私はこうした弱いものいじめの政治を変えるためにみなさんと一緒にがんばります。

私たちは前回の選挙で6名から4名に後退しましたが、区民のみなさんと力を合わせて、保育園、特養ホーム、「ちいばす」、障害者グループホームの整備を行ってきました。さらに、各種行政サービスやいきいきプラザ・地域コミュニケーションセンターの整備拡充などあらゆる分野でサービスの拡充に努めてきました。

引き続きみなさんの声を区政に届けるためにがんばってまいります。

「ご支援ご協力をよろしく申し上げます。」

なんでも相談会

毎月12日(土・日・祝日は翌日)
弁護士、熊田区議が対応します。ご連絡ください。

熊田ちづ子区政報告

2014年秋号
発行・日本共産党港区議員団
連絡先 3583-1402

1253億円もある区民の積立金を 区民のために活用



港区の豊かな財政で

暮らし・福祉・教育・中小企業施策を充実させ、子どもからお年寄りまで、安心して暮らせる港区をご一緒につくり上げていきましょう…

✓ 407名もの方が待っています

特別養護老人ホームを建設します。

日本共産党区議団の提案で高齢者人口比で23区トップの特養ホームが整備されましたが、400名を超す待機者がいます。

待ったなしの課題です



✓ 安倍政権の暴走にレッドカード

消費税増税、海外で戦争する国づくり、原発再稼働、辺野古新基地建設、国民の多くが反対しても聞く耳持たない安倍暴走政治にレッドカードを



✓ 保険あって介護なしは許せない

- ▼ 要支援者への訪問・通所介護を保険給付費から外し、市区町村の事業に移す。
- ▼ 所得に応じて、利用料を1割から2割に引き上げる
- ▼ 特別養護老人ホームの入所者を原則「要介護3」以上とする。

実施されたら多くの介護を必要とする方や家族に影響を与えます。

私たちはこうした問題点を追及する一方で、一人でも多くの区民が介護状態に陥らないように、ともに助け合うための応援をしています。

安心できる介護保険制度実現のために
みなさんと一緒に頑張ります

✓ 682名が入れず困っています

区立認可保育園を建設します。

日本共産党区議団が提案した暫定保育室、区立保育園の建て替えによる定員拡大で定員は7年前の2.3倍に増えています。

しかし4月認可保育園に入園できなかった子どもは682名。

区立保育園の建設が急がれます。



✓ 高校生まで医療費を無料に

教育費など多額の費用がかかります。

行政の施策も一番やすい年代です。

日本共産党区議団は、高校生の医療費を無料にするよう条例提案を行っています。

王代田区では
すでに実施しています。

数字で見る港区の介護の実態

総人口 235,964人 (2014年2月1日現在)
40,578人 (65歳以上)
5,751人 (要介護)
2,289人 (要支援)
9,111人 (二次予防事業対象者)

元気な高齢者の割合=57.7%

